



ほんのひろば



としよしつ おすすめのほん

これ、よんで!

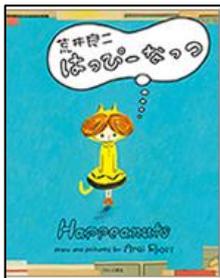
えほん



「**はっぴーなっつ**」

荒井 良二/作 フロンズ新社 (E-アライ)

はる・なつ・あき・ふゆ。きせつのはじまりには、ちいさなハッピーがたくさんみつかります。この絵本の子のように目をつむってみましょう。耳をすますと、鳥の声やいろいろな音が聞こえ、ふかく息をすいこんでみると木や風のかおりがするかもしれません。きせつを楽しむことを教えてくれる1冊です。



よみもの

「**チイの花たば**」

森 絵都/作 たかお ゆうこ/絵 岩崎書店 (Y913-モリエ)

チイのおばあちゃんはお花やさん。すてきな花たばをつくることができます。チイは大きくなったら、おばあちゃんみたいなお花やさんになりたいと思っています。おばあちゃんから、お花やさんになるには「テスト」に合格しないといけないときいた夜、チイはふしぎな夢をみて…。



ちしき



「**自分を信じて**」

輝くアスリートの感動物語1 東京オリンピック・パラリンピック2020
大野 益弘/監修・執筆 美甘 玲美、宮嶋 幸子/執筆 あかね書房 (B78-ジフン)

オリンピック・パラリンピックには、さまざまな種類のスポーツで努力してきた選手たちが出場しました。どのようにして選手になり、そして試合ではどんな気持ちだったのでしょうか。この本はそんなアスリートたちの物語です。



「そだててみたら…」

スギヤマ カナヨ/作・絵
赤ちゃんとママ社 (E-スギヤ)

「ひとつからはじめよう」

スーザン・ヴェルデ/文 ピーター・レイノルズ/絵
島津 やよい/訳 新評論 (E-レイノ)

「ぼくんちのねこのはなし」

いとう みく/作 祖敷 大輔/絵
くもん出版 (Y913-イトウ)

「はっけん!オタマジャクシ」

関 慎太郎/写真 AZ Relief、伊部 朝香/編著
緑書房 (B48-ハツケ)



いいざかゑたんけん ～しゃがむ土偶～



土偶とは縄文時代に作られた、人型の土の焼きものことです。しゃがむ土偶は昭和27年（1952年）に上岡遺跡（飯坂町東湯野）から見つかりました。

なぜしゃがんでいるのか正しい答えは、はっきりしていませんが、有力な2つの説があります。縄文時代のお産のポーズだった説と、まつりの場面での祈りのポーズだった説です。その時代の文化とくらしを知るための貴重な資料として国の重要文化財となっています。

<参考にした本>

- 『しゃがむ土偶辞典 上岡遺跡のしゃがむ土偶』 福島市文化振興課／編 (K210.2-シヤカ)
- 『ふしぎ?びっくり!ニッポン美術たんけん 第1巻』 辻 惟雄／監修 日本図書センター (B70-フシギ)

おはなしかいのおしらせ

絵本のおみせかせ、てあそび・わらべうたなどで楽しくすごそう!



おはなしひろば



対象：4さいから小学生むけ

にちじ：毎月第1土曜日 ごぜん11:00～

おひざにだっこのおはなし会



対象：3さいまでの乳幼児と保護者むけ

にちじ：主に毎月第2木曜日 ごぜん10:30～

まいつき24日は「ふくしま読書の白」(ふくよみの白)!

おはなしひろば～ふくよみスペシャル～

対象：4さいから小学生むけ

にちじ：24日が土曜日・日曜日の月 (次回は7月24日)



①ごぜん 11:00～ ②ごご 2:30～ ※1回目と2回目は同じ内容です

場所：飯坂学習センター 和室 ※ひにちはへんこうや中止になることがあります

ほんのひろば 2022年6月発行 (通巻 第35号)

編集・発行：飯坂学習センター図書室

〒960-0201 福島市飯坂町字銀杏6-11 TEL 542-2122

ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>

携帯ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/library/>

